



明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <http://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



2020.2月号

春はスタートダッシュをきめよう

★春休みは一番ゆっくりできる!?★

春休みは、意外と忙しいというイメージを持っている人も多いのではないかと思います。確かに小学校から中学校、中学校から高校、高校から大学へと進学する場合は、様々な準備をするので慌ただしく感じますよね。短い春休み、宿題も少なく、あっという間に終わってしまいます。それでも時間を上手に活用して、学習で遅れている部分を取り戻したり次の学年の準備をしたりしましょう。特に自分の学校生活のリズムを崩さないためにも普段の学校生活の時間に合わせて過ごすことで、新学期になってもスムーズに学習に取り組むことができます。

★進級・進学前にやっておきたいこと★

①前学年の総復習をする！

自分が受けた過去のテスト・模擬試験などを見ながら、間違えたところや時間がかかったところをもう一度解き直してみましょう。同じように間違えたり、時間がかかったりしているのであれば、復習が必要な部分です。

②曖昧な知識を定着させる！

この時期に一人で家庭で行える英単語や漢字学習は、家庭学習を習慣づけるチャンスです。学校の授業で曖昧に覚えてしまっているものがないか確認します。

③部屋のかたづけ

新学年に勉強しやすいように机の上などを整理しておきましょう。そうすれば、復習する際も教科書や資料を探す時間が省けます。机の上をきれいにすることで頭の中も整理できます。

春期講習のポイント

春期講習は進学や進級に向けての架け橋のような役割を果たします。3つのポイントをおさえて学習に取り組みましょう。

ポイント1：苦手なところを持ち越さない！

学習する内容は小学校から高校までつながっています。小学校で比や比例を学んだ後、中学校で比例・反比例を応用した1次関数、2次関数を学び、高校でさらに2次関数の応用、3次関数につながっていきます。つまりいた分野をそのままにせず、苦手分野などを振り返り、春期講習でしっかり復習しておきましょう。

ポイント2：予習してスタートダッシュ！

新学年になると学習内容もさらに難しくなり、得意だったはずの教科がなかなか理解できなくなってしまうということも起こりがちです。春期講習では先取り学習も可能なので、事前に各教科の学習内容に触れると、自信を持って新学期を迎えることができます。

ポイント3：通塾教材の見直し

新しい学年からは、「英語を塾でやりたい!」「今のうちに理科を学習したい!」「次の学年の数学を早めに学習したい!」など考えている人もいます。このような教科を春期講習で受講すると、授業の感覚をつかめます。

大学入試センター試験の「これまで」と「これから」

昨年11月に、大学入試改革で予定されていたことが見送りとなり、ニュースになりました。「大学入試センター試験」は例年50万人以上が参加し、800以上の大学・短期大学が合否判定に利用している試験ですが、小学校から始まる教育改革の流れで、センター試験が廃止され、「大学入学共通テスト」が導入されます。検討中の課題が多いので、今後も大学入試に関わるニュースは気をつけてみましょう。

【お詫びと訂正】

情熱通信2019年12月号に掲載いたしました記事に誤植が見つかりました。深くお詫び申し上げますとともに、後記の通り訂正させていただきます。誤植内容は「節目の年に起こった出来事も抑えておきましょう」の部分

誤 1999年(10年前) 裁判員制度の開始 → 正 2009年(10年前) 裁判員制度の開始

諦めない!

先月に「諦めるのを知ったのはいつですか?」というタイトルでコラムを書かせていただきました。今月は、その続きとして「諦めない方法」です。

まずは、諦めてしまうときの心境を考えてみます。ほとんどの場合は、「こんなの無理だ…」といった心境です。「俺(私)には、絶対にできる!」と思っているときに諦める人はいません。諦めない方法とは「できる!」と信じ込むことなのかもしれません。勉強でも、スポーツでも同じです。成功している人のほとんどは「できる!」という信じ込むことから始めているはず。しかし、信じ込むことが難しい。信じ込むことを可能にするのは、言語化です。目標とすることを数字を含めて言語化し続けることによって、脳が「できる!」と勘違いし、諦めない状況を作れる可能性が高くなると私は考えています。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

神の力と人の力と

とある人から、教室に飾るものとして「初鉄(けつがね)」というものをいただきました。なんでも製鉄の初期にノロ(不純物の塊のようなもの)とも出てくる鉄だそうで、金山神(金山彦神や金山姫神)の御神体とされるものでもあり、縁起物でもあるそうです。

金山神そのものは金属全般の神だそうで金運隆昌とも関係しているそうですが、鉄は武器や鏡などの材料となることから、災難除けや厄除けにもご利益があるとの事です。まずは無事に皆さんが試験を受けられるよう、教室に飾らせていただきます。

試験の結果が良くなるお手伝いは、授業で。でも結果を出すのは皆さんの努力ですから、神頼み先生頼みとはいきません。さあ、1年の集大成はもうすぐそこですよ!

釧路春採SC教室 平山 由香利 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

今やるべきこと

2月は受験生にとって正に明暗を分ける月です。この1か月の過ごし方如何によって来春の結果が大きく変わる可能性があります。とはいえ、何か特別な事をしなければならない訳ではありません。今やらなければならない事に集中して取り組むこと、この一点につきます。

受験生が今やるべき最も優先順位が高い事は言うまでもなく「受験勉強」でしょう。ここまでしっかり勉強を積み重ねてきた人たちは本番に向けての総仕上げをする1か月です。そうではない人たちは、最後まで決して諦めずに、これからどれだけ勉強に時間をかけ、どれだけ真剣に向き合えるか? が鍵となります。

やりたい事はたくさんあるかも知れませんが、今はやるべきこと(受験勉強)から目を逸らさずに、自分に厳しくあって下さい。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

待望

2月3日は節分で、2月4日が立春となりますが、北海道に住んでいる我々には、ましてや受験を前にしている受験生にとっては、まだまだ春は遠いといった感じが強いでしょう。

それは草木にとっても同じ。春の知らせとなる「ふきのとう」などは関東では2~3月頃に採れますが、北海道では3~5月頃となっています。今頃は土の中で必死に寒さに耐えていることでしょう。しかし春になれば一斉に芽吹こうと、今か今かとその瞬間を待ち望んでいるのです。ふきのとうの花言葉の一つに「待望」というものがありますが、まさにという感じですね。受験生にとっての待望は、入試合格、高校入学だと思えますが、「いま、草木たちも必死に頑張っているんだな」と思えば少しは心の支えになるかもしれません。もうひとふんばりです!

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

ホイールローダー

弊社・鳥取教室は敷地が広いものですから、雪が降ったならば人力での雪掻き作業は時間がかかります。まとまった雪が降ろうものならば、一人二人の手作業では追いつきません。そうした際、除雪・排雪を業者の方をお願いしたなら、それなりの費用がかかります。というわけでホイールローダーを備え付けておきまして、それを運転しての除雪担当は私です。この冬は記録的な少雪とのことですが、本当に雪が少ないですね…。さて、さほど雪が降らずにこのまま春を迎えることになるのでしょうか、それとも後半にでもドカッ!と降って帳尻が合うのでしょうか? 「習うより慣れる」との言葉通り、ホイールローダーでの除雪作業もやはり回数をこなさないと上手にはなりません。雪が少なく除雪に手間がかからないのはありがたいですが、もう少し運転の練習機会がほしいなどと思ったり。目指すはホイールローダー除雪の達人です(笑)。